

第420回生存圏シンポジウム
生存圏データベース全国共同利用研究成果報告会
モノのデータベースから電子データベースまで
—さまざまな学術データの新しい共同利用に向けて—

2020年2月18日(火) 13:30 開始
京大大学生存圏研究所 木質ホール 3階大会議室

参加無料
申込不要

挨拶

塩谷雅人(データベース全国国際共同利用専門委員会 委員長)

13:30-14:00

オープンサイエンスの潮流と政策

林 和弘(科学技術予測センター 科学技術・学術政策研究所)

14:00-14:30

環境研究データの公開と利活用に向けて

白井 知子(国立環境研究所 地球環境研究センター)

14:30-15:00

木材標本データベースの現状と将来展望

杉山 淳司(京都大学 生存圏研究所)

15:00-15:30

Introduction of computer vision based wood anatomy

Hwang Sung-Wook(京都大学 生存圏研究所)

15:30-16:00

ポスターセッション(全国共同利用成果報告)

16:00-16:30

オープンサイエンスに向けた図書館の取り組み

天野 絵里子(京都大学 学術研究支援室)

16:30-17:00

学術資料所有機関と大学間におけるデータのオープン化・共有化

後藤 真(国立歴史民俗博物館)

17:00-17:30

科学研究データの保存と管理:研究データリポジトリの在り方

村山 泰啓(情報通信研究機構 戦略的プログラムオフィス)

17:30-18:00

総合討論

問い合わせ先

京都大学 生存圏研究所 データベース全国国際共同利用専門委員会

0774-38-3634